

(資料提供)
平成28年7月14日
環境部 自然環境課
自然共生グループ
内線 4264 外線 225-1476

特定外来生物「オオカワヂシャ」・「カダヤシ」の県内での生育・生息の確認について

外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）に基づき、特定外来生物に指定されているオオカワヂシャ及びカダヤシの生育・生息を6月に県内で確認しました。

特定外来生物は、飼育や栽培、保管および運搬等が原則禁止され、取扱いに注意が必要です。また、在来種へ悪影響を及ぼすため、他地域に広げないことが重要です。本種を発見等した場合は、県自然環境課または市町自然環境担当課へご連絡ください。

1 オオカワヂシャ確認場所

伊久留川河床（中能登町）、手取川下流河川敷（川北町、白山市）
河北潟干拓地及び周辺（かほく市、津幡町、内灘町、金沢市）

2 カダヤシ確認場所

大聖寺川下流域内の農業用水路、洪水調整池（加賀市）

<特定外来生物>

外来生物法に基づき、在来の生態系や人間の健康に影響等の被害を特に与える生物を指定。飼育や栽培、運搬、野外への放出は禁止されており、罰則規定がある。
平成17年6月1日に施行。現在、110種類が特定外来生物として指定。

※写真データが必要な場合は、下記へお尋ねください。

環境部自然環境課自然共生グループ 外線076-225-1476/内線4264

オオカワヂシャ



＜ゴマノハグサ科 1年～多年生草本＞
ヨーロッパ～アジア北部原産



【特徴】

全体が無毛

花：開花期は4～9月

淡紫色～白色の花を多数つけ、果実は球形。

花の直径は5mmほど

茎：高さは30～100cm

地中を横走る根茎から茎を直立させる。

葉：長楕円形～披針形

【繁殖方法】

種子、地下茎により繁殖する。

種子は風、雨、動物などにより伝播される。

【防除方法】

4～9月に花が咲いたあと、たくさんの種子をつけますので、できるだけ種子がつく前に刈り取ります。刈り取ったものは、刈り取った場所で2～3日天日にさらし、枯れたら袋に入れて処分します。（その際、種子がついている場合は、周りに飛散しないように注意し、袋に入れて枯死させてください。）オオカワヂシャがたくさん生えている場所の土には、たくさんの種子が含まれています。土の移動により、種子を広げてしまわないよう、注意してください。

【県内の分布（現在確認している場所）】

伊久留川河床（中能登町）、手取川下流河川敷（川北町、白山市）

河北潟干拓地及び周辺（かほく市、津幡町、内灘町、金沢市）

【影響・被害】

在来種との競合や駆逐など、在来種に対して悪影響を与える恐れがあります。

在来種のカワヂシャ（いしかわレッドデータブック絶滅危惧Ⅰ類）と交雑し、遺伝的な攪乱を生じさせる恐れがあります。

カダヤシ

<カダヤシ科>

北アメリカ(ミシシッピ川流域～メキシコ北部)原産

上:メス
下:オス



写真提供:山本 邦彦

【特徴】

体長:メス5cm、オス3cm
メダカに似ているが、尾びれが丸い。

水田や用水路、河川下流等流れの緩い場所に生息。
塩分や水の汚れにも比較的強い。

昼行性で、雑食性。

【繁殖方法】

交尾により体内受精し、直接仔魚を産む。
水草などの特別な産卵場所を必要としない。

【防除方法】

タモ網等で捕獲してください。
メダカと同じような場所に生息しているため、捕獲した後にメダカなど外来魚と区別し、カダヤシのみを駆除してください。

【県内の分布(現在確認している場所)】

大聖寺川下流域内の農業用水路、洪水調整池(加賀市)

【影響・被害】

メダカ等の在来種との競合や駆逐など、在来種に対して悪影響を与える恐れがあります。